



仙台市水道局マスコットキャラクター

ウォーターくん

平成 25 年度事業計画

仙台市水道局

1. はじめに

仙台市水道局では、平成 22 年 3 月に策定した「仙台市水道事業基本計画（平成 22 年度～平成 31 年度）」（以下「基本計画」という。）及びその実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画（平成 22 年度～平成 26 年度）」（以下「中期経営計画」という。）に基づき、優先的・重点的に取り組んでいく 6 つの「施策の基本的方向性」を踏まえ、各年度の事業に取り組んでいます。（図 1）

このたび、平成 25 年度における事業計画がまとまりましたので、お知らせいたします。

図 1 仙台市水道事業の計画体系



2. 予算の概況

本市水道事業においては、これまでの経営の効率化に向けた取り組みにより、財政状況は改善傾向にあります。将来の人口減少や節水意識の浸透等による有収水量の減少に加え、老朽施設の更新需要が増加していく見通しであることから、経営環境は厳しさを増す見込みであり、今後の給水収益や施設整備・更新等の経費の動向を見極めながら、計画的な事業の推進を図っていく必要があります。

本年度においては、東日本大震災の総括も踏まえつつ、水道事業中期経営計画に基づき、経営の効率化に努めるとともに、震災復興計画に掲げる新次元の防災・環境都市づくりの一環として、施設や管路の耐震化推進、災害時用設備等の充実、災害時給水機能の拡充、災害時における水運用機能の強化などの災害対策や、小水力発電設備の新設、LED照明設備の導入などの環境施策を推進してまいります。

今後も計画的かつ効果的な事業運営とサービスの向上に努め、安全で良質な水道水を安定的に供給していくことを通じて、市民の暮らしや地域産業を支え、お客さまに一層信頼される水道事業を目指してまいります。



3 . 事業計画

区 分	単位	平成 25 年度 当初 予算 (C)	平成 24 年度 補正 後 予算 (D)	増 減 (減) (C) - (D)	比 率 (%) (C)/(D)
年間 総 配 水 量 (A)	m ³	121,198,250	121,347,900	149,650	99.9
(仙 台 市 配 水 量)	m ³	(117,106,600)	(117,351,150)	(244,550)	(99.8)
(他 市 町 分 水 量)	m ³	(4,091,650)	(3,996,750)	(94,900)	(102.4)
一 日 最 大 配 水 量	m ³	369,400	366,751	2,649	100.7
一 日 平 均 配 水 量	m ³	332,050	332,460	410	99.9
年 間 有 収 水 量 (B)	m ³	112,832,450	112,858,000	25,550	100.0
有 収 率 (B)/(A)	%	93.1	93.0	0.1	100.1
使 用 給 水 栓 数	栓	426,800	422,100	4,700	101.1
職 員 数 (管 理 者 除 く)	人	407	406	1	100.2



4 . 財政状況

(1) 収益的収支

水道水をつくり，ご家庭にお届けするための財源と経費です。

収入 262億5,200万円

お客さまからの水道料金 230億7,100万円	その他 31億 8,100万円
----------------------------	-----------------------

当年度純利益
4億1,400万円

支出 258億3,800万円

人件費 33億 9,800万円	物件費など 67億 7,500万円	受水費 67億400万円	減価償却費 72億4,500万円	支払利息 17億 1,600万円
-----------------------	-------------------------	-----------------	---------------------	------------------------

県などから浄水を購入
するための費用

水道施設などの資産価値
の目減り分を毎年の費用
として計上したもの

国などか
らの借入
金の利息

(2) 資本的収支

水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費です。

収入 40億7,100万円

企業債 30億円	その他 10億 7,100万円	損益勘定留保資金など 95億8,700万円
-------------	-----------------------	--------------------------

施設整備などのために
国などから借りるお金

減価償却費などを充当します

支出 136億5,800万円

建設改良費 86億7,900万円	企業債償還金 49億7,900万円
---------------------	----------------------

施設の建設・改良工事のための費用など

国などからの借入金の元金の
返済

(3) 前年度との比較(収益的収支)

(単位 : 千円)

区 分 科 目	平成 25 年度 当初 予算 額	平成 24 年度 補正 後 予算 額	増減額 (減)	比 率 (%)
水道事業収益	26,252,275	26,218,979	33,296	100.1
営業収益	24,882,731	24,708,581	174,150	100.7
給水収益	23,692,089	23,764,603	72,514	99.7
受託工事収益ほか	1,190,642	943,978	246,664	126.1
営業外収益	1,367,613	1,488,705	121,092	91.9
水道加入金	803,862	761,323	42,539	105.6
他会計補助金	501,372	608,042	106,670	82.5
不動産賃貸料ほか	62,379	119,340	56,961	52.3
特別利益	1,931	21,693	19,762	8.9
水道事業費用	25,838,596	24,910,419	928,177	103.7
営業費用	23,970,832	22,942,214	1,028,618	104.5
人件費	3,398,148	3,413,121	14,973	99.6
物件費	6,230,053	5,347,967	882,086	116.5
受水費	6,704,135	6,700,495	3,640	100.1
減価償却費ほか	7,638,496	7,480,631	157,865	102.1
営業外費用	1,788,068	1,883,498	95,430	94.9
支払利息	1,716,274	1,809,744	93,470	94.8
繰延勘定償却ほか	71,794	73,754	1,960	97.3
特別損失	49,696	54,707	5,011	90.8
予備費	30,000	30,000	0	100.0
当年度純損益(税抜き)	413,679	1,308,560	894,881	31.6

(注) 消費税抜きの額である。

(4) 前年度との比較(資本的収支)

(単位 : 千円)

区 分 科 目	平成 25 年度 当初予算額	平成 24 年度 補正後予算額	増減額(減)	比 率 (%)
水道事業資本的収入	4,070,932	3,102,710	968,222	131.2
企 業 債	3,000,000	2,000,000	1,000,000	150.0
固定資産売却代金	1	21,001	21,000	0.0
出 資 金	453,469	484,192	30,723	93.7
国庫補助金	151,970	31,000	120,970	490.2
開発負担金	260,150	372,969	112,819	69.8
負担金	198,284	174,519	23,765	113.6
その他資本的収入	7,058	19,029	11,971	37.1
水道事業資本的支出	13,658,104	11,648,611	2,009,493	117.3
建設改良費	8,678,850	6,268,387	2,410,463	138.5
配水管整備事業費	4,169,653	3,730,351	439,302	111.8
施設整備事業費	4,033,625	2,215,314	1,818,311	182.1
受託等工事費	475,572	322,722	152,850	147.4
企業債償還金	4,979,254	5,376,586	397,332	92.6
その他資本的支出	0	3,638	3,638	皆減
差 引	9,587,172	8,545,901	1,041,271	112.2

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。

5 . 主な実施事業

基本計画において定められた 6 つの「施策の基本的方向性」に沿って、平成 25 年度に実施する主な事業をご紹介します。【 】内の金額は平成 25 年度の事業費です。

(1) 安全・安心で良質な水道水の提供

高度浄水処理施設の導入【約 2 億 7,200 万円】

かび臭対策として、浄水場における粉末活性炭注入設備の導入を進めます。

保安体制の充実【約 1,000 万円】

配水所などの無人の水道施設における機械警備を引き続き実施します。



粉末活性炭注入設備

(2) 安定・信頼の水道システムの確立

水運用機能の強化

配水幹線の整備【約 4 億 6,100 万円】

災害時に弾力的な水の相互融通を行い、断水などの被害拡大を防止するため、配水幹線網を整備します。

配水ブロックの再編成【約 9,900 万円】

適正な水量と水圧の管理、災害時の影響区域の縮小化などを図るため、配水ブロックの再編成を進めます。

施設の適正な維持管理と計画的な更新

鉛製給水管の更新【約 7 億 5,000 万円】

漏水防止や適正な水質管理の観点から、鉛製給水管の更新を行います。

施設の耐震化

浄・配水施設の耐震化【約 11 億 400 万円】

浄水施設の耐震詳細診断や配水施設の耐震補強工事などを行います。

管路の耐震化【約 20 億 4,700 万円】

配水幹線や老朽管、災害医療の拠点となる災害拠点病院などへの管路について、耐震性に優れた水道管への更新を進めます。



耐震管への更新工事

応急給水・応急復旧体制の充実

災害時給水栓の設置【約 1,200 万円】

小学校への災害時給水栓の設置を拡大し、より多くの場所で応急給水ができるようにします。

緊急遮断弁の設置【約 8,400 万円】

配水所に緊急遮断弁を設置し、破損した管路からの水道水流出を防止するとともに、配水所で応急給水ができるようにします。

災害時給水機能の充実【約 5,700 万円】

浄水場に給水車への注水補給設備を設置するとともに、給水車 1 台を容量の大きいものに更新します。

長期停電への対策【約 9,000 万円】

災害時の長期停電に備え、浄水場などにおける非常用自家発電装置の燃料タンク容量を増強します。



災害時給水栓

(3) お客さまの視点に立った事業運営

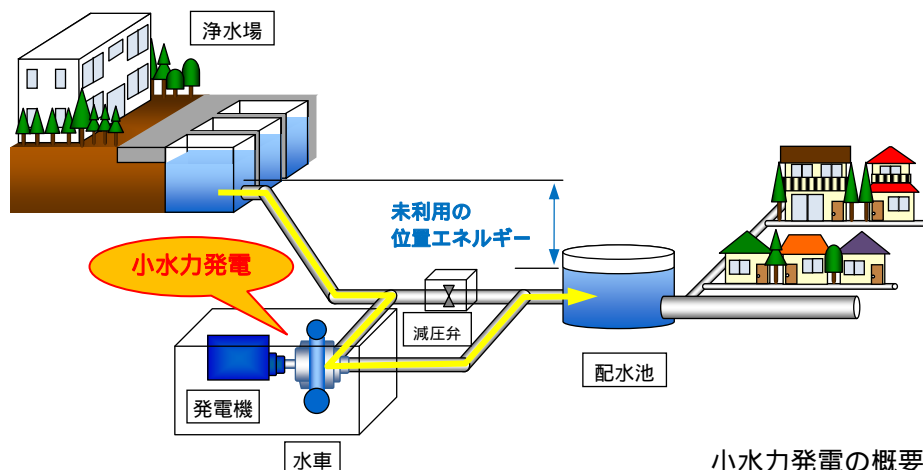
事業・水質などの情報の積極的な提供【約 3,800 万円】

お客さまの関心が高い水質や災害対策に関する情報などを、広報紙やホームページなどを通じてお知らせします。

(4) 環境に配慮した事業運営

小水力発電設備の新設【約 1 億円】

水道の位置エネルギーを有効活用した小水力発電設備を新たに設置します。



小水力発電の概要図

省エネルギー型機器への切り替え【約 5 億 2,500 万円】

ポンプ場の設備更新における高効率機器の導入や、庁舎への LED 照明設備の導入など、省エネルギー型機器への切り替えを進めます。

次世代自動車の導入【約 1,700 万円】

公用車の更新に際して、低公害車を導入します。

(5) 経営基盤の強化

新たな事業手法の導入検討

小水力発電設備の設置を推進するため、官民連携による整備手法の検討を進めます。

組織改正による効率化

業務課と営業課を統合し料金課とするなど、より効率的な事業運営に努めます。

(6) 新たな視点に立った事業運営

国際貢献の推進

諸外国の水道技術向上に貢献するため、独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じた海外技術研修員の受け入れを行います。



海外技術研修員受入れの様子

